

第4回 建設分野の外国人材育成・確保あり方検討会 議事概要

日 時：令和7年 10 月 16 日(木)15:00～17:00

場 所：中央合同庁舎第2号館国土交通省会議室

(事務局及び委員より資料に沿って説明)

(委員からの主な意見は以下の通り)

(1) 外国人材の中長期的なキャリアパス構築

① CCUS の利用促進

- 外国人技能実習生や特定技能 1 号は CCUS に登録しているが、中小企業の元請けは CCUS を使っていない。そこを改善しなければ、就業履歴を蓄積できないのではないか。
- CCUS(詳細型)での登録を義務化しなければ外国人材のキャリアアップに繋がらないのではないか。
- CCUS(詳細型)に登録し、保有資格を把握することが、特に外国人労働者には必要になる。JAC による様々な支援制度もあるが、国土交通省でも検討いただきたい。
- CCUS のレベルによって給与が決まることになれば CCUS は普及すると思う。
- CCUS に登録するメリットをわかりやすく説明し、登録が普及するようにしてほしい。

② JAC による無料日本語講座・安全衛生教育の拡充の取組

- 安全衛生教育については外国人の心身の安全に繋がるということを考えると、個社単位ではなく JAC のような団体を通じて対応するのが適切である。
- 無料日本語講座・安全衛生教育がどのくらい活用されているかを JAC で確認し、しっかり受入企業側が責任を持ち、これらの教育に取り組めるとよい。
- 幅広い提供先を考えているという意味で、JAC が無料日本語講座を育成就労外国人へ拡充するということは非常によい。
- 建設業では雨天によって作業できない日も出てくるため、オンデマンド配信の講座も活用しながら N5 合格を目指すための勉強ができるとよい。
- 外国人と日本人の言葉の違いをサポートする仕組みを用意することは重要である。来日するまでに現地でどれだけ教育できるかが大事になる。

③ キャリア育成プラン普及のインセンティブ付与

- キャリア育成プランの作成は義務ではないため、どの程度取り組むか受入企業に任せる部分はあると思うが、しっかり企業が進められるようにチェックできるとよい。

(2) 建設分野における外国人共生

① JAC による外国人材に係る地域共生の取組

- 優良事例を調べていただき、そういった取組みを全国に展開できるよう今後検討されることに期待している。外国人と一緒に働いている人、隣に住んでいる人といかに溶け込み、摩擦なく過ごすことについて考えることが重要である。是非 JAC の取組みによって、外国人と一緒に働くことや一緒に住むことが上手くいっている事例を取り上げていただきたい。
- 都市部と地方の差を出さない支援が特に地域共生では大事である。建設分野において日本語の教育人材の確保や育成を行わないと、特に地方で人が足りなくなる。地方に日本語の教育人材がいなければ、地域共生に影響が出てくる。
- 日常生活トラブルへのサービスや医療受診サポートは、非常に良い。外国人によって日本語を話せるレベルは異なり、病院で何をどう話せばよいかわからないという外国人もいる。

② その他

- ルールを守らない受入れ企業への対応は是非とも厳しく進めてほしい。適切に取り組んでいる企業を支援するためにインセンティブを付与することも必要だと思う。優良な登録支援機関との連携も是非取り組んでいただきたい。

(3) 有識者会議等の状況報告と取りまとめ骨子案

- 労働安全衛生については、育成就労及び特定技能ともに、雇入れ時とは別に実施する労働安全衛生のオリエンテーションを追加するという点で異議はない。

以上